



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 竹田印刷株式会社
 コード番号 7875 URL https://www.takeda-prn.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木全 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 細野 浩之 TEL 052-871-6351
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,931	2.0	△32	—	12	32.5	△5	—
2019年3月期第1四半期	7,773	△5.0	△25	—	9	△93.8	△15	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △11百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 33百万円 (△80.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△0.67	—
2019年3月期第1四半期	△1.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	30,277	14,947	49.0	1,833.56
2019年3月期	31,111	15,023	47.9	1,843.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,822百万円 2019年3月期 14,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,000	1.7	170	12.0	200	5.5	120	△7.4	14.84
通期	36,500	1.0	650	10.5	700	4.6	450	—	55.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 __社（社名）、除外 __社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	8,781,000株	2019年3月期	8,781,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	696,846株	2019年3月期	696,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	8,084,154株	2019年3月期1Q	8,049,154株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、改元の祝賀ムードや大型連休による個人消費の増加、雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の激化による中国経済の減速や円高傾向による企業収益の悪化などが懸念されており、先行きは引き続き不透明な状況です。

このような状況の中、当社が主力としております国内の印刷業界につきましては、デジタル化の進展による紙媒体の縮小、競争の激化、価格の低迷という構図が長期にわたり継続していることに加えまして、年明けから実施されました印刷用紙の値上げによる原材料価格の高騰も重なり、大変厳しい状況にあります。

そのような状況の下でも業績を向上させるべく、当社グループでは顧客第一の基本方針のもと健全な危機感を持ち、売上の確保、コスト・経費の削減はもちろんのこと、顧客にとっての価値（顧客価値）を創出する、または増大させる課題解決（ソリューション）提案、すなわち安易な価格競争に巻き込まれないビジネスモデルへの転換を進めております。

そのような活動に注力いたしました結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は79億31百万円（前年同期比2.0%増）となりました。しかしながら、利益面におきましては、前述いたしました原材料価格の高騰や当社グループの売上・利益が下半期（特に第4四半期）に集中するビジネスモデルであることも影響し、営業損失32百万円（前年同期は25百万円の営業損失）、経常利益12百万円（前年同期比32.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失5百万円（前年同期は15百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

(印刷)

印刷事業では、紙媒体が縮小し価格の低迷が続く大変厳しい状況の下、生産性向上やエネルギーコスト低減などのコスト削減活動に加え、顧客価値を増大させるソリューションを提供するビジネスモデルへの転換のための活動、具体的にはシステム構築、データ収集・分析、ロジスティクスサービス、事務局運営、各種BPO、販促イベント支援などのサービスレベルをさらに向上させるとともに、それらを複合的に組み合わせたワンストップソリューションの提供に注力致しましたが、主力である商業印刷物の落込みが顕著でした。

一方、半導体関連マスク事業では、前期に比べ若干の弱気みは見られるものの、引き続き車載機器・スマートフォン・タブレット端末向け等の電子部品が順調に推移したため、売上・利益の両面において堅調に推移しました。

上記の結果、印刷セグメントの売上高は53億20百万円（前年同期比1.4%減）、営業損失は28百万円（前年同期は11百万円の営業利益）となりました。

(物販)

物販事業では、高付加価値化や品質・環境性能を向上させた商品の提案、自社ブランド機械の販売強化、新規顧客獲得活動などを精力的に行いました結果、資材販売ならびに機械販売ともに堅調に推移しました。しかしながら、大型機械の更新需要の服感から、機械販売では自社ブランド機械案件が少なく、売上原価率の上昇により粗利益が伸び悩みました。それを補うべく、広告宣伝費や試験研究費などの経費削減に努めましたが、利益の確保には苦戦を強いられました。

上記の結果、物販セグメントの売上高は27億56百万円（前年同期比9.2%増）、営業損失は8百万円（前年同期は41百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、商品及び製品、仕掛品などが増加いたしましたものの、受取手形及び売掛金の減少により、前連結会計年度末に比べ8億34百万円減少し、302億77百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ7億58百万円減少し、153億29百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ75百万円減少し、149億47百万円となり、自己資本比率は49.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2020年3月期の業績予想は、2019年5月14日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,633	5,723
受取手形及び売掛金	8,776	7,364
商品及び製品	472	587
仕掛品	330	509
原材料及び貯蔵品	257	264
その他	510	568
貸倒引当金	△81	△67
流動資産合計	15,898	14,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,404	3,358
機械装置及び運搬具(純額)	549	532
土地	6,241	6,313
リース資産(純額)	1,136	1,118
建設仮勘定	5	33
その他(純額)	169	179
有形固定資産合計	11,507	11,534
無形固定資産	186	188
投資その他の資産		
投資有価証券	2,192	2,254
繰延税金資産	766	771
その他	668	686
貸倒引当金	△107	△107
投資その他の資産合計	3,519	3,604
固定資産合計	15,212	15,327
資産合計	31,111	30,277

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,201	3,194
電子記録債務	2,889	3,125
短期借入金	870	970
1年内返済予定の長期借入金	612	676
リース債務	336	340
未払法人税等	102	27
賞与引当金	489	674
その他の引当金	17	6
その他	1,121	1,020
流動負債合計	10,641	10,035
固定負債		
長期借入金	855	759
リース債務	1,153	1,115
長期未払金	155	153
退職給付に係る負債	3,016	2,996
資産除去債務	201	202
その他	63	65
固定負債合計	5,446	5,293
負債合計	16,087	15,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,937	1,937
資本剰余金	1,800	1,800
利益剰余金	11,230	11,160
自己株式	△512	△512
株主資本合計	14,456	14,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618	587
為替換算調整勘定	7	11
退職給付に係る調整累計額	△182	△162
その他の包括利益累計額合計	443	436
非支配株主持分	124	125
純資産合計	15,023	14,947
負債純資産合計	31,111	30,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,773	7,931
売上原価	6,319	6,448
売上総利益	1,454	1,482
割賦販売未実現利益戻入額	0	0
差引売上総利益	1,454	1,482
販売費及び一般管理費	1,480	1,514
営業損失(△)	△25	△32
営業外収益		
受取配当金	21	25
受取賃貸料	4	9
貸倒引当金戻入額	11	14
その他	8	10
営業外収益合計	45	59
営業外費用		
支払利息	7	7
為替差損	0	3
その他	2	3
営業外費用合計	10	14
経常利益	9	12
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	0	1
投資有価証券評価損	17	1
関係会社株式評価損	—	1
ゴルフ会員権評価損	—	3
その他	7	—
特別損失合計	24	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△13	5
法人税等	1	9
四半期純損失(△)	△15	△4
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△5

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△15	△4
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△31
為替換算調整勘定	△3	4
退職給付に係る調整額	19	20
その他の包括利益合計	49	△7
四半期包括利益	33	△11
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33	△12
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,395	2,378	7,773	—	7,773
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	145	146	△146	—
計	5,395	2,524	7,919	△146	7,773
セグメント利益又は損失(△)	11	△41	△30	4	△25

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,320	2,610	7,931	—	7,931
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	146	146	△146	—
計	5,320	2,756	8,077	△146	7,931
セグメント損失(△)	△28	△8	△36	4	△32

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。